

2020年度 公益社団法人 日本栄養士会 定時総会のご案内

公益社団法人 日本栄養士会

〒105-0004

東京都港区新橋5-13-5新橋MCVビル6階

TEL03-5425-6555 FAX03-5425-6554

<https://www.dietitian.or.jp/>

* 日本栄養士会ホームページ おしらせ よりログインしてご覧ください。

2020年度 公益社団法人日本栄養士会 定時総会 開催通知

2020年6月1日

代議員・会員各位

公益社団法人日本栄養士会
会 長 中村 丁次

日 時 2020年6月21日(日) 午後1時から午後5時まで

場 所 日本栄養士会の事務所会場(東京都港区新橋5-13-5 新橋MCVビル6階。本部会場)と
各都道府県栄養士会の会場(分散会場)とをテレビ会議技術で結んだ連携会場

構成員 代議員

総会議題

- 第1号議案 2019年度事業報告、貸借対照表、損益計算書(正味財産増減計算書)、財産目録承認の件
- 第2号議案 理事選任の件
- 第3号議案 監事選任の件
- 第4号議案 役員報酬承認の件
- 第5号議案 名誉会員承認の件

日 程

6月21日(日)

- 11:00～13:00 受 付
- 13:00～13:20 開会
会長挨拶
議長団選出・議事録署名人選出・書記団指名・会議運営委員指名
総会成立宣言
- 13:20～14:00 第2号議案 (提案・選任決議)
- 14:00～15:00 第1号議案 (提案説明・討論・採決)
- 15:00～15:10 第3号議案 (提案説明・討論・採決)
- 15:10～15:30 第4号議案 (提案説明・討論・採決)
- 15:30～15:50 休憩
- 15:50～16:00 第5号議案 (提案説明・討論・採決)
- 16:00～16:20 協 議 2020年度事業執行計画、予算について(提案説明)
- 16:20～16:30 宣言(案)採択
- 16:30～17:00 第2号議案 (選任決議報告)
- 17:00 閉 会

【提案とお願い】

新型コロナウイルス感染防止に係る定時総会運営上の特別の配慮について

1. 上記議案の内容は「総会資料」(ホームページ会員限定ページに掲載します。代議員には、別途郵送します。)をご覧ください。
2. 新型コロナウイルスへの感染機会を可能な限り排除するために、今年度定時総会は、都道府県栄養士会ごとに設けた会場(分散会場)と日本栄養士会の事務所会場(本部会場)とをテレビ会議技術を使って結びつける方法により実施します。
3. 新型コロナウイルスへの感染機会を可能な限り排除するために、分散会場、本部会場を問わず、次の方法による参加を推奨します。
 - (1) 代議員は、書面(議決権行使書)によって議決権を行使することができますので(定款第22条第2項)、議決権行使書を提出することを、参加方法の第一順位の選択肢とします。
議決権行使書は、2020年6月16日(火)までに所属都道府県栄養士会へ提出してください。各都道府県栄養士会は、代議員の議決権行使書を2020年6月19日(金)午後5時45分までに日本栄養士会に提出してください。
 - (2) 代議員は、代理人によってその議決権を行使することができますので(定款第22条第1項)、代理人による出席を、参加方法の第二順位の選択肢とします。
代議員又は代理人は、代理権を証明する書面(委任状)を、所属都道府県栄養士会をとおして日本栄養士会に提出してください。
 - (3) 上記二つの方法によらずに分散会場又は本部会場に出席する代議員又は代理人は、自他の感染防止のために必要な対応(手洗いやアルコール消毒、マスク着用、発熱や風邪症状など体調不良が現れた場合の当日参加自粛等)を励行するようお願いします。
4. 都道府県栄養士会は、所属代議員の参加方法(3.の(1)、(2)、(3))を確認し、6月12日(金)までに日本栄養士会に指定の様式にて報告してください。
5. 分散会場又は本部会場に出席する代議員又は代理人は、定刻までに所定の会場に到着し、受付を済ませてください。

2020年度 公益社団法人日本栄養士会 賛助会員会総会 開催のご案内

※ 2020年度公益社団法人日本栄養士会 賛助会員会総会につきましては、追ってご連絡いたします。

公益社団法人日本栄養士会理事候補者について

2020年6月1日

代議員各位

公益社団法人 日本栄養士会
選任決議管理委員長 佐藤 高雄

2020年4月1日付けで、日本栄養士会ホームページ等で告示をした理事選任総会決議について立候補がありました。

2020年4月23日に選任決議管理委員会を開催し、候補者の資格審査を行いました。その結果、別表のとおり理事候補者を決定したので、役員選任総会決議にかかる手続規程第17条第1項に基づき告示します。

1. 一般理事選任決議分野候補者氏名(届出順)

No.	氏 名	都道府県	職 域	備 考
1	西村 一弘	東京都	医療	
2	渡邊 啓子	福岡県	研究教育	
3	塚田 定信	大阪府	医療	
4	斎藤 トシ子	新潟県	研究教育	
5	中村 丁次	神奈川県	研究教育	
6	神戸 絹代	静岡県	研究教育	
7	柵木 嘉和	愛知県	学校健康教育	
8	下浦 佳之	兵庫県	地域活動	
9	鈴木 志保子	神奈川県	研究教育	
10	外川 泉	山梨県	公衆衛生	
11	松村 晃子	徳島県	医療	
12	岡本 智子	宮城県	研究教育	
13	渡邊 潤	静岡県	医療	
14	阿部 絹子	群馬県	公衆衛生	
15	田中 弥生	神奈川県	研究教育	
16	木戸 康博	兵庫県	研究教育	
17	小林 弘治	東京都	福祉	

2. 職域理事選任決議分野候補者氏名(届出順)

No.	氏 名	都道府県	職 域	備 考
1	新井 英一	静岡県	研究教育	研究教育から推薦あり
2	海老原 昌子	千葉県	地域活動	地域活動から推薦あり
3	原 純也	東京都	医療	医療から推薦あり
4	中田 智子	栃木県	学校健康教育	学校健康教育から推薦あり
5	諸岡 歩	兵庫県	公衆衛生	公衆衛生から推薦あり
6	國分 葉子	東京都	勤労者支援	勤労者支援から推薦あり
7	加藤 すみ子	福島県	福祉	福祉から推薦あり

公益社団法人日本栄養士会理事選任総会決議の方法について

2020年6月1日

代議員各位

公益社団法人 日本栄養士会
選任決議管理委員長 佐藤 高雄

公益社団法人日本栄養士会定款第21条第1項、第3項及び役員選任総会決議にかかる手続規程第6条から第19条までにに基づき、総会会場にて理事の選任に関する選任決議を次の分類ごとに行います。

1. 一般理事選任決議分野候補者 17名 総会会場で選任の可否を問う選任決議を行います。
2. 職域理事選任決議分野候補者 7名 総会会場で選任の可否を問う選任決議を行います。

=====選 挙 公 報=====

- ◆各候補者から届出のあった事項を公報します。
(各候補者から提出のあった公報原稿を、そのまま掲載します。)

1. 一般理事選任決議分野候補者

◎ 一 般 理 事 選 任 決 議 分 野 候 補 者		届出番号	※ 1	ふりがな 氏 名	にしむらかずひろ 西村 一弘 (満59歳)	性別	◎男・女	
		勤務先	名称 駒沢女子大学 人間健康学部 健康栄養学科 〒 206-8511 東京都稲城市坂浜238番地 TEL 042-350-7233					
		所属都道府県 栄養士会	東京都 栄養士会	会員 番号	0 1 3 0 3 9 5 4	所属職域	医療	
職 歴	【職歴】 昭和57年3月 社会福祉法人緑風会緑風荘病院入職 平成 8年4月 老人保健施設グリーン・ボイス主任兼務 平成15年9月 東京家政学院大学非常勤講師兼務 平成16年4月 社会福祉法人緑風会健康推進部主任兼務 平成27年4月 駒沢女子大学人間健康学部入職 【業績】 平成17年6月 NPO法人西東京臨床糖尿病研究会功労賞 平成18年5月 東京都栄養士会永年会員表彰 平成20年11月 東京都糖尿病協会個人功績賞表彰 平成27年10月 東京都知事賞表彰 【会員・役員歴】 会員歴 ・平成8年～令和2年 日本栄養士会、東京都栄養士会 役員歴 (東京都栄養士会) 平成17年～令和2年 医療部会役員 平 成24年～令和2年 医療事業部企画運営委員長 平 成24年～令和2年 理事 平 ・26年～令和2年 会長 役員歴 (日本栄養士会) 平成18年～平成20年 全国病院栄養士協議会幹事 平成20年～平成24年 全国病院栄養士協議会常任幹事 平成24年～平成28年 医療事業部企画運営副委員長 平成20年～令和2年 理事 (京浜地区担当、栄養ケ ア・ステーション事業部副部長など)				これまで6期12年間日本栄養士会の理事として、厚生労働省の栄養ケア活動整備事業（よりそいプロジェクト、共食の場における配食サービス活用事業など）の運営委員や評価委員、東日本大震災の被災地支援やJDA-DAT研修会の立ち上げ、認定栄養ケア・ステーション制度の確立、診療報酬改定と診療報酬・介護報酬同時改定委員、日本栄養士会教育センター立ち上げ準備会の委員、京浜地区担当理事などを歴任して、管理栄養士・栄養士の様々な制度作りに携わらせていただきました。 日本は超高齢化社会が急速に迫る中で、管理栄養士の収入源の中心にある診療報酬や介護報酬という全国一律の評価を高めることも重要ですが、限りある財源の中でそれだけに執着しては管理栄養士・栄養士の発展が停滞してしまいます。新たな報酬体系である広域連合による介護予防事業や自治体単位で行う総合支援事業の中で管理栄養士・栄養士が活躍して、国民の健康長寿を支える仕組みづくりが求められているので、その為の制度作りや人材育成が急務と考えています。 理事として当選した際には、日本の未来に管理栄養士・栄養士の姿が常に定着できるような仕組みづくりに尽力したいと思っておりますので、宜しくお願い致します。			
	立 候 補 の 抱 負							

◎ 一般 理事 選任 決議 分野 候補 者		届出番号	※ 2	ふりがな	わたなべけいこ	性別	女
		氏名	渡邊 啓子	(満62歳)			
		勤務先	名称 学校法人 中村学園大学 〒 814 -0198 福岡県福岡市城南区別府5丁目7-1 TEL 092-851-5964				
		所属都道府県 栄養士会	福岡 栄養士会	会員 番号	4 0 1 1 5 1 1	所属職域	研究教育
職 歴 ・ 業 績 ・ 会 員 ・ 役 員 歴	【職歴】 1978年4月～2018年3月 公立学校共済組合九州中央病院 2018年9月～現在 学校法人 中村学園大学 【業績】 平成22年9月 福岡県知事感謝状 平成27年9月 厚生労働大臣表彰(栄養改善) 【会員・役員歴】 昭和53年5月 日本栄養士会・福岡県栄養士会入会 平成12年4月～現在 福岡県栄養士会理事 平成14年～22年 全国病院栄養士協議会九州地区幹事 平成22年～令和2年 日本栄養士会医療事業部企画運営委員副委員長						
	立候補の抱負						

◎ 一般 理事 選任 決議 分野 候補 者		届出番号	※ 3	ふりがな	つかだ さだのぶ	性別	男・女
		氏名	塚田 定信	(満60歳)			
		勤務先	名称 公立大学法人大阪 大阪市立大学医学部附属病院 〒 545 - 8586 大阪府大阪市阿倍野区旭町1丁目5-7 TEL 06-6645-2870				
		所属都道府県 栄養士会	大阪府 栄養士会	会員 番号	0 2 7 0 0 2 0 4	所属職域	医療(病院)
職 歴 ・ 業 績 ・ 会 員 ・ 役 員 歴	【職歴】 昭和55年4月～大阪市立大学医学部附属病院奉職 平成13年4月～ 同 主査 平成19年4月～ 同 保健副主幹 平成24年4月～ 同 保健主幹 令和2年4月～ 同 非常勤職員 同 株式会社グローバル・アイ顧問 【業績】 昭和60年4月から、入院患者食事管理業務のコンピュータによるシステム化を推進 平成6年2月 入院患者食事管理業務の改善提案について大阪市表彰 【会員・役員歴】 日本栄養士会 昭和55年4月～ 大阪府栄養士会 入会 平成16年6月～ 大阪府栄養士会病院部会強化委員 平成18年6月～ 大阪府栄養士会 理事 平成28年6月～ 日本栄養士会 理事 平成30年6月～ 日本栄養士会 理事(副会長) その他 平成7年5月～ 日本糖尿病学会 会員 平成15年3月～ 日本臨床栄養協会 評議員 平成23年2月～ 日本臨床栄養協会 理事 令和元年 月～ 日本臨床栄養学会 評議員						
	立候補の抱負						
	私は、大学病院の管理栄養士として40年間勤務してまいりました。退職後は、大阪市立大学医学部附属病院先端予防医療部での栄養食事指導業務並びに検診事業等で、これまでに培った管理栄養士としての実務経験を生かした業務に従事してまいります。また、今後地域医療との連携を図り、ケアステーション事業にもチャレンジしてまいりたいと考えます。						
	前任期では、副会長として管理栄養士、栄養士の将来像を念頭に、学術研究事業部、人材育成事業部、栄養ケア・ステーション事業部、地域連携事業部の担当として活動し、また総務部長としても会の運営に携わってまいりました。これらの活動経験を来期でも生かして活動をしてまいりたいと考えます。 今回の立候補においても引き続き、次の点において取り組む所存です。 1. 未来を担う管理栄養士、栄養士の社会環境づくりや、資質の向上に取り組めます。 2. 地域医療・在宅における管理栄養士・栄養士の役割を明確にするとともに、病院での栄養管理と在宅での栄養管理を円滑に進める仕組みづくりに取り組みます。 3. 日本栄養士会が目指す管理栄養士・栄養士の将来構想の実現に向け、会員とのパイプ役として努力いたします。						

告示第3号

◎ 一般 理事 選任決議分 野候補者		届出番号	※ 4	ふりがな 氏 名	齋藤 トシ子 (満64歳)	性別	男 ・ 女 (○)	
		勤務先	名称 新潟医療福祉大学 〒 950-3198 新潟県新潟市北区島見町1398 TEL025-257-4418					
		所属都道府県 栄養士会	新潟 栄養士会	会員 番号	0 1 5 0 3 0 2 3	所属職域	研究教育	
		【職歴】 ・ 桜の聖母短期大学家政学科副手 (S51-H4) ・ 仙台市健康増進センター健康増進課 (H4-12) ・ 新潟医療福祉大学設立準備財団専門委員会委員 (H12-13) ・ 新潟医療福祉大学健康科学部健康栄養学科助教授を経て教授 (H13-現在に至る) 【業績】 ・ 日本栄養士会雑誌論文委員会委員 (H22-23) ・ 東日本大震災災害支援 ・ 臨地・郊外実習マニュアル (2014年版) 改定検討ワーキング委員 ・ 新卒会員増対策の検討・実施 【会員・役員歴】 ・ 新潟県研究教育専門委員 (H15-17) ・ 新潟県栄養士会理事 (H18-21) ・ 新潟県栄養士会常任理事・副会長 (H22-26) ・ 全国研究教育協議会幹事 (H20-24) ・ 全国研究教育事業部企画運営委員 (H24-26) ・ 全国研究教育事業部企画運営委員長 (H26-現在に至る) ・ 日本栄養士会理事 (H26-30) ・ 日本栄養士会常任理事 (H31-現在に至る)	立候補の抱負	私は、日本栄養士会の理事になるまでは、日本栄養士会がどのような組織で、どのような活動をしているのかについて、全く理解していませんでした。しかしながら、平成26年から現在まで、理事として活動する中で、日本栄養士会は、私たち栄養士・管理栄養士の存続や地位向上、国民の健康づくりの推進に向け、精力的に活動していることを目の当たりにいたしました。私自身もこの6年間は、研究教育職域の理事として、当職域のビジョン「管理栄養士・栄養士養成システムの充実と科学的根拠の蓄積を業とし、その実践活動を通して、社会へ食と健康の専門職としての責務を果たす」を達成すべく、養成校教員の研究力・教育力向上に向けた事業の強化、新卒会員増対策などを進めてまいりました。さらに、昨年度から、研究・教育センター準備委員長とし、栄養士・管理栄養士の研究および教育（学習）支援の拠点となるようなセンターの構築に向け、検討をスタートいたしました。しかしながら、一般の新型コロナウイルス感染症という有事に遭遇した際、国民や会員のために日本栄養士会は、どのような支援を行うことが重要なかを思索し、組織体制及び危機管理体制の見直し等を図ることの重要性に気づきました（正確には、会員の方からの声で、気づかせていただきました）。今後、日本栄養士会が、国民及び栄養士・管理栄養士の方々に役立つ組織になるために重要な役割は何なのか、やるべきことは何なのかを、もう一度、原点に立ち戻り、検討していく必要があるのではないかと考えています。「最も重要な決定とは、何をするかではなく、何をしないかを決めることだ（スティーブ・ジョブズ）」という言葉に糧に、会員の皆様からのご要望・ご意見をいただきながら、検討していきたいと思っております。				

◎ 一般 理事 選任決議分 野候補者		届出番号	※ 5	ふりがな 氏 名	なか むら てい じ 中村 丁次 (満72歳)	性別	男 (○) 女	
		勤務先	名称 神奈川県立保健福祉大学 〒 238-8522 神奈川県横浜須賀野市平成町1-10-1 TEL 046-828-2503					
		所属都道府県 栄養士会	神奈川県 栄養士会	会員 番号	0 1 4 0 0 7 5 1	所属職域	研究教育	
		【職歴】 1977年 日本栄養士会会員入会 昭和47年 徳島大学医学部栄養学科卒 新宿医院 昭和50年 聖マリアンナ医科大学病院栄養部 昭和62年 聖マリアンナ医科大学横浜西部病院 平成11年 聖マリアンナ医科大学病院栄養部 平成15年 神奈川県立保健福祉大学 【業績】 卒業後、病院栄養士として、病院給食の改善、栄養相談室の設置、管理栄養士の臨床領域への進出等に尽力した。特に、2000年の法改正の際、21世紀における管理栄養士の具体的な姿を提言し、栄養アセスメントや栄養管理の意義や具体的方法を示し、その普及活動に努めた。2008年、横浜での「国際栄養士会議ICD2008」では、組織委員長として会の運営にあたり、本会は規模、質ともに優れた国際会議として国内外から高い評価を受け、翌年観光庁より表彰された。国の栄養に関する各種委員会の委員を担い、厚労省の「日本人の長寿を支える「健康な食事」の在り方を考える検討会」では座長を務め、「食育基本法」や「保健指導」、さらに「臨床栄養管理」等の設立に尽力した。 2003年以降は、神奈川県立保健福祉大学の教員になり、経験した実践活動を基盤に、管理栄養士養成や栄養学研究に取り組み、2011年から学長として、保健医療福祉系大学の運営にあたっている。大学では、ヒューマンサービスを理念とした多職種連携の教育・研究を目指し、栄養の普遍性と専門性を高めてきた。このことは、高齢社会が必要とする地域・多領域連携、保健医療福祉の包括化に対応できる人材養成に不可欠であり、これからの栄養の方向性を示すことができたと思っている。また、アジア地域における栄養政策や栄養士養成にも貢献し、12月に予定されている「栄養サミット」の準備にも取り組んでいる。 【会員・役員歴】 1977年 日本栄養士会会員入会 2004～2012年(平成16～24年)、2018～2020年(平成30～現在) 日本栄養士会会長	立候補の抱負	栄養学は、約200年前、化学と生理学の融合により誕生し、医学、農学、家政学の一部として発展し、20世紀後半に、独自の学問体系を整えた。つまり、栄養は、生命を支える根幹となる栄養素を発見し、その役割や摂取方法を見出すことにより、学問的な基礎研究と栄養改善としての実践を表裏一体として発展させ、保健、医療、福祉の底辺を支えてきた。近年、少子高齢社会の到来、地球規模で起こる環境変化、さらに今回の新型コロナウイルスの感染爆発等にみられるように、栄養を取りまく課題は、教育、経済、環境等にも影響を与え、複雑で高度になり、問題解決は困難になりつつある。 解決すべき方法として、制度や施設・設備を改善し、人工知能やロボット等の最先端技術等を導入しつつある。しかし、どのような変化が起ころうとも、最も重要なことは、困難な問題に立ち向かうべき知識や技術と強固な魂を持った人材養成であると信じている。つまり、優れた管理栄養士、栄養士を教育、養成し、それぞれの実力が発揮できる社会環境を創造していくことが、重要である。このことが実行できる可能性を最も秘めているのが、日本栄養士会である。 日本栄養士会は、先人の努力により低栄養も過剰栄養も解決し、世界一の長寿国家を建設する礎となった。しかし、残念ながら全ての国民に栄養不良がなくなったわけではなく、中高年の男性には肥満問題が残存する一方で、新生児、若年女子、高齢者には新たな低栄養が出現している。さらに、持続可能な栄養や食事の在り方が国際的な課題になりつつある。 現在は、世界の栄養不良を撲滅する絶好の機会でありながら、実際の成果は思ったほど上がっていない。日本栄養士会は、国内に残された栄養問題を解決すると同時に、経験を生かして、国際的に貢献をすべきだと考えている。今回、再び立候補することを決心した。				

◎ 一般 理事 選任決議分 野候補者		届出番号	※ 6	ふりがな 氏名	かんべ きぬよ 神戸 絹代 (満67歳)	性別	男・女	
		勤務先	名称 東海学園大学健康栄養学部管理栄養学科 〒 485-8514 愛知県名古屋市中区中平 2-901 TEL 052-801-4462					
		所属都道府県 栄養士会	静岡県 栄養士会	会員 番号	0 2 2 0 0 8 7 5	所属職域	研究教育	
		職歴	平成25年～ 【職歴】 昭和49年～昭和53年 日本大学短期大学部実習助手 昭和52年～昭和57年 共立病院外来栄養指導担当 昭和60年～平成15年 病院管理栄養士 平成9年～平成15年 日本大学短期大学部非常勤講師 平成15年～平成25年 日本大学短期大学部准教授 平成25年～平成30年 日本大学短期大学部教授 平成27年～平成30年 日本大学短期大学部・ 食物栄養学科長 平成30年4月～現在 東海学園大学健康栄養学部教授 【業績】 ・平成19年 静岡県栄養士会表彰（栄養改善事業功労） 平成22年 静岡県知事表彰（栄養指導業務功労） 平成23年 厚生労働大臣表彰（栄養指導業務功労） 【会員・役員歴】 ・昭和60年～現在 日本栄養士会会員 平成18年～平成22年 静岡県栄養士会理事 平成24年～現在 日本栄養士会理事					
立候補の抱負	平成24年から4期 日本栄養士会の理事として、最初の3期間は主に人材育成事業部の担当として生涯教育と特定保健指導の業務を担ってきました。平成29年より学術研究事業部として、全国栄養士大会でのポスター発表や研究論文投稿の支援をしてきました。 管理栄養士・栄養士の地位向上には、科学的根拠に基づく栄養に関わる研究成果を示して、知識を増やしていく必要があります。 そのために、以下の支援に努めていきます。 1. 研究・実践報告の支援 日頃の業務から得た実績を、全国栄養士大会での発表ならびに論文投稿ができる支援に努めていきます。 2. 2022年の第8回アジア栄養士会議（ACD2022）の委員と準備を進めながら、今までの海外学会発表の経験を活かして、多くの会員が日本で開催される海外学会発表ができる支援に努めていきます。 また、8年間の経験を活かして、各都道府県栄養士会と日本栄養士会の連携を取り、会員の声が反映できるようパイプ役も担っていくよう尽力していきますので、どうぞ宜しくお願いいたします。							

◎ 一般 理事 選任決議分 野候補者		届出番号	※ 7	ふりがな 氏名	ませぎ よしかず 柵木 嘉和 (満65歳)	性別	男・女	
		勤務先	名称 名古屋文理栄養士専門学校 〒 451-0076 名古屋市中区東岸町2丁目53番地1 TEL 052-521-2251					
		所属都道府県 栄養士会	愛知県 栄養士会	会員 番号	0 2 3 0 0 0 4 0	所属職域	学校健康教育	
		職歴	昭和50年～平成6年 一宮市立学校栄養職員 平成6年～平成20年 一宮市立学校栄養職員 主査 平成20年～平成27年 一宮市立木曽川中学校 栄養教諭 平成27年～令和2年 名古屋文理大学短期大学部 准教授 令和2年～ 名古屋文理栄養士専門学校 副校長 【業績】 平成24年 愛知県知事表彰 【会員・役員歴】 昭和50年～ 栄養士会入会 平成10年～平成18年 愛知県栄養士会 理事 学校健康部会長 平成12年～平成14年 愛知県栄養士会 総務部長 平成14年～平成18年 愛知県栄養士会 事業部長 平成18年～平成20年 日本栄養士会 全国学校健康教育栄養士 協議会幹事 平成20年～平成28 日本栄養士会 全国学校健康教育栄養士 協議会 協議会長 平成20年～平成28年 日本栄養士会 理事 平成28年～ 日本栄養士会 常任理事 平成28年～ 愛知県栄養士会 会長					
立候補の抱負	日本栄養士会の理事として、職域担当理事・一般理事の経験を活かし、栄養士会としてやらなければならないことの実現と管理栄養士・栄養士の社会的地位の向上に努めていきます。 ○栄養士の明確な位置付けに向けて ・栄養士の活動の場の拡大 ・栄養士の業務内容の確立 ・保育園に栄養士配置の義務化へ向け ○今やらなければならない重要課題 ・東京栄養サミット、第8回アジア栄養士会議の成功 ・栄養ケアステーション事業の推進 ・将来構想の実現 ・管理栄養士・栄養士の「見えるか」の実現 ・管理栄養士・栄養士のスキルの向上プラス実践（行動）に結びつける研修の確立 県栄養士会の役員として、運営に関わっている立場を活かし、日本栄養士会と都道府県栄養士会の連携強化に努め、双方の充実発展に努めていきます。 よろしく願いいたします。							

告示第3号

◎ 一般 理事 選任決議 分野候補者		届出番号	※ 8	ふりがな 氏 名	しもうら よしゆき 下浦 佳之 (満61歳)	性別	男	
		勤 務 先	名称 公益社団法人日本栄養士会 〒 105-0004 東京都港区新橋5-13-5 新橋MCVビル6階 TEL 03-5425-6555					
		所属都道府県 栄養士会	兵庫県 栄養士会	会員 番号	0 2 8 7 0 1 7 5	所属職域	地域活動	
		【職歴】 S56年 兵庫県立光風病院 給食課 H02年 兵庫県立尼崎病院 給食課 主任 H06年 兵庫県福祉部地域福祉課 監査指導係 主査 H12年 兵庫県立こども病院 栄養指導課長 H20年 兵庫県立加古川病院 次長兼栄養指導課長 H21年 兵庫県立加古川医療センター 同 H24年 兵庫県立がんセンター 栄養管理部次長兼栄養管理課長 H28年 兵庫県立尼崎総合医療センター 同役職 H29年6月30日附 兵庫県職員退職 【会員・役員歴】 会員歴：S56年～現在（39年） ・ 日本栄養士会役員歴： 日本栄養士会理事（理事7期目H18～現在） 常務理事（H26～現在）H29.7より常勤 日本栄養士会災害支援チーム（JDA-DAT）総括（H24～現在） ・ 栄養ケア・セッション推進・事業部長（H22～H25） 学術情報部長（H20～H21） 生涯学習検討会委員長（H18～H19） 兵庫県栄養士会役員歴： 兵庫県栄養士会 副会長（H24～現在） 栄養ケア・セッション委員長・生涯学習委員長他・兵庫県小児保健協会理事 【講師等】神戸学院大学客員教授	我が国において、人生100年時代といわれる中、管理栄養士・栄養士の使命として、低栄養と栄養過多が混在する「栄養不良の二重負荷」という大きな栄養課題の解決を目指すことがあげられます。令和の時代に入ってから台風・豪雨等の自然災害や新型コロナウイルス感染症（COVID-19）等、人々の命、健康、食環境に大きく影響する事柄が発生し、対応が求められています。 また、Society5.0をはじめとし、健康・栄養分野においてもIoT、AI等の先端技術の活用が進み、さらに、持続可能な開発目標（SDGs）をはじめとする様々な国際的な枠組みに基づいて栄養課題への対策が世界で推進されています。このように、国内外の栄養改善の機運が一層高まっていると認識される中、我々を取り巻く環境の変化に伴い、その活躍の場や求められる役割も変化しています。管理栄養士・栄養士の職能団体である日本栄養士会においても、我々の存在意義や方向性、役割等について、対外的なメッセージを発信させていくことが重要であると考えています。そのためにも、今、何ができるのか、何をしなければならないのかといった方向性を明確に示し、会員の皆様とアジェンダを共有しつつ、国民に対して、食と栄養の専門職としての役割を果たす必要があります。 今回の理事立候補に当たり、取組むべき大きな3つの重点項目への対応を推進していきます。 1. 少子高齢社会の進展に対応した取組を推進 2. 災害等から命を守る取組を推進 3. Society5.0社会における管理栄養士・栄養士の在り方を明確化し取組を推進 以上の取組への推進を図るために、様々な事業を展開していくとともに、これまでの事業の見直し等を実施し、適切な会務の運営に努めます。 また、常務理事としての職務についても責務を果たす所存です。					

◎ 一般 理事 選任決議 分野候補者		届出番号	※ 9	ふりがな 氏 名	すずき しほこ 鈴木 志保子 (満 54歳)	性別	男・女	
		勤 務 先	名称 公立大学法人 神奈川県立保健福祉大学 〒 238-8522 神奈川県横浜賀市平成町1丁目10番1 TEL 046-828-2658					
		所属都道府県 栄養士会	神奈川県 栄養士会	会員 番号	0 1 4 0 5 3 5 0	所属職域	研究教育	
		【職歴】 平成12年～平成15年 国立鹿屋体育大学助教授 平成15年～平成21年 神奈川県立保健福祉大学助教授（平成19年4月より准教授、大学院兼務） 平成21年～現在 公立大学法人 神奈川県立保健福祉大学（大学院兼務）教授 【業績】 平成21年～平成27年 NPO法人 日本スポーツ栄養研究会・学会（2013年～2015年学会）会長 平成21年 NPO法人 日本栄養改善学会学会賞受賞 平成24年～平成25年 厚生労働省「運動基準・運動指針の改定に関する検討会」構成委員 平成26年～平成27年「平成26年度管理栄養士国家試験出題基準（ガイドライン）改定検討会」構成員 平成27年～現在（公財）日本体育協会 スポーツ医・科学専門委員会委員 平成29年～平成30年 公益財団法人 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会「飲食戦略検討会議」委員 平成29年～平成31年「学校における食育推進に係る協力者会議」委員 平成30年～令和元年（公財）東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会「東京2020大会メニューアドバイザー委員会」副座長 令和元年～現在 文部科学省「中学生用食育教材作成委員会委員」委員 平成29年～現在（公財）日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会女性スポーツ委員会委員 【会員・役員歴】 平成16年～現在 日本栄養士会 会員 平成26年～現在 日本栄養士会 理事 平成28年～平成30年 日本栄養士会 情報コミュニケーション事業部副部長 平成30年～現在 日本栄養士会 常任理事 情報コミュニケーション事業部部長 平成30年～現在 日本栄養士会 副会長	理事となり6年目が終わろうとしています。この2年間は、副会長、情報コミュニケーション事業部部長として活動をしました。 最初に、「未来のトップアスリートのための体感型スポーツ栄養セミナー」は、皆様のご協力のおかげで2016～2019年度の4年間で46都道府県（COVID-2019の影響で1県開催中止となりました）で開催することができました。ありがとうございました。 情報コミュニケーション事業部では、日本栄養士会HP、国民向けHP「NU+」、日本栄養士会雑誌の充実、「栄養の日・栄養週間」の活性化のための栄養ワンダーと全国栄養士大会の安定的な実施を進めました。「日本栄養士会の会員でよかったと思ってもらえるように」「国民に日本栄養士会・管理栄養士・栄養士の重要性と活躍を知ってもらえるように」を念に活動しました。これからも会員の皆様にご協力をいただき、日本栄養士会の「良さ」や特徴と時代の流れを融合させた情報提供を進めたいと考えます。 副会長としては、職域統轄事業部の整備、研究教育センターの設置等に関わりました。組織づくりの重要性を学びました。特に、COVID-2019のような感染症対策について、事象が起きた時に反応性を高め、迅速な対応を行うための組織が必要であることを学びました。 この6年間、日本栄養士会は何を担い、そのため何の事業は何か、どのように優先順位をつけて活動すべきかを考えて過ごしました。この答えを明確に出すことが不可能だとわかっています。1つだけわかったことがあります。日本栄養士会は、将来に向けての事前準備が不十分であることです。次期、理事として活動するチャンスをいただけるのなら、将来を考えた日本栄養士会の活動になるように働きます。よろしくお願いします。					

◎ 一般 理事 選任 決議 分野 候補 者		届出番号	※ 10	ふりがな 氏 名	とがわ いずみ 外川 泉 (満52歳)	性別	男・ ☒ 女	
		勤務先	名称 富士吉田市教育委員会学校給食センター 〒403-0002 山梨県富士吉田小明見3丁目6番1号 TEL 0555-22-4466					
		所属都道府県 栄養士会	山梨県 栄養士会	会員 番号	0 1 9 0 0 3 5 6	所属職域	公衆衛生	
		職歴・業績・会員・役員歴	【職歴】 平成4年4月～現在 富士吉田市役所 健康増進に関わる業務 学校給食に関わる業務 【業績】 地域連携事業部担当として県栄養士会のご要望 や課題を把握した。また、研究・教育センター創 設準備室の担当として、課題克服のために、デー タ収集への反映に努めた。 【会員・役員歴】 会員 平成4年7月～現在 役員歴 平成12年～平成13 山梨県市町村栄養士会会長 平成30年6月～現在 山梨県栄養士会富士・東部支部長 平成30年6月～現在 日本栄養士会理事					

◎ 一般 理事 選任 決議 分野 候補 者		届出番号	※ 11	ふりがな 氏 名	まつむら あきこ 松村 晃子 (満61歳)	性別	男・ ☒ 女	
		勤務先	名称 徳島市民病院 〒770-0812 徳島市北常三島町2丁目34番地 TEL 088-622-5121					
		所属都道府県 栄養士会	徳島県 栄養士会	会員 番号	0 3 6 0 0 1 2 1	所属職域	医療	
		職歴・業績・会員・役員歴	【職歴】 ・昭和56年4月 徳島大学病院医学部附属病院 医事課調理係 ・平成6年4月 同 栄養管理室 主任 ・平成16年4月 同 栄養管理室 副室長 ・平成21年4月 同 栄養管理室 室長 ・平成23年10月～平成31年3月 徳島大学病院栄養部 副栄養部長 ・平成31年4月～徳島市民病院栄養管理室 副室長・栄養指導アドバイザー 【業績】 ・平成13年5月 日本栄養士会会長表彰 ・平成14年11月 日本栄養改善学会 評議員 ・平成16年1月 日本病態栄養学会 評議員 ・平成16年5月 徳島県栄養士会会長表彰 ・平成28年10月 徳島県集団施設協議会優良従事者 表彰 ・平成29年10月 日本病態栄養学会 がん病態専門管理栄養士委員 ・平成30年7月 厚生労働大臣表彰（栄養指導功労 者） 【会員・役員歴】 (会員歴) ・昭和56年4月 日本栄養士会入会 徳島県栄養士会入会 (役員歴) ・平成14年度～17年度 生涯学習担当 ・平成18年度～19年度 病院栄養士協議会 理事 ・平成20年度～21年度 病院栄養士協議会 副会長 ・平成22年度～23年度 徳島県栄養士会理事 病院栄養士協議会 副会長 ・平成24年度～ 医療栄養士協議会 代表 ・平成30年度～ 徳島県栄養士会理事 日本栄養士会理事					

告示第3号

◎ 一般 理事 選任 決議 分野 候補 者		届出番号	※ 12	ふりがな 氏 名	おかもとともこ 岡本智子 (満60歳)	性別	男 ☐ 女 ☒	
		勤 務 先	名称 札幌保健医療大学 保健医療学部 栄養学科 〒 007-0894 札幌市東区中沼西 4 条2丁目1番15号 TEL 011-788-6804					
		所属都道府県 栄養士会	宮城県 栄養士会	会員 番号	0 0 4 0 1 9 0 6	所属職域	研究教育	
		職 歴	【職歴】 昭和57年4月 医療法人同済病院（老人・特養老人ホーム 併設）（昭和58年3月まで） 昭和58年4月 宮城県立成人病センター（現在宮城県立がんセンター） 昭和60年4月 国立宮城工業高等専門学校 学生課（平成11年3月まで） 平成11年4月 東北大学病院医学部附属病院栄養管理室 平成14年4月 東北大学病院医学部附属病院栄養管理室 副室長 （平成19年医学法上の名称を東北大学医学部附属病院より東北大学病院と名称変更となる） ・平成19年4月 東北大学病院 栄養管理室 室長 診療技術部 栄養管理部門 部門長 平成24年4月 栄養サポートセンター副センター長（栄養サポートセンターディレクター兼務） 平成25年4月 東北大学病院 診療技術部 副部長 ・栄養管理部門 部門長 栄養管理室 室長 栄養サポートセンター副センター長 2019年4月札幌保健医療大学 保健医療学部 栄養学科 准教授（現在に至る） 【業績】 学術評議員（日本病態栄養学会・日本臨床栄養代謝学会（旧日本静脈経長栄養学会）・日本摂食嚥下リハビリテーション学会・日本肥満症治療学会） 平成19年宮城県栄養士会会長表彰 平成29年度仙台市保健所公衆衛生関係功労者食育推進表彰 平成30年度仙台市公衆衛生関係功労者食育推進表彰 令和元年日栄会長表彰 【会員・役員歴】 平成6年から会員 宮城県栄養士会理事（平成28年度～）日本栄養士会理事（平成30年度令和元年度）					
立 候 補 の 抱 負	私は2018年度より日本栄養士会の理事として情報コミュニケーション事業部に所属し、日栄担当の方とともに会員の皆さまの業務に活用できる情報を配信してまいりました。 その中で、情報の配信という一方ではなく、相手のニーズを拾って共有できるような双方向の情報コミュニケーションの必要性を感じており、その実現を来期の大きな課題にしたいと考えております。 栄養士・管理栄養士は、職場に相談できる同業者が少数であるという傾向にあり、小さな疑問や悩みを抱えたままであることが想像されます。そこで、webを使用した非対面によるコミュニケーションツールを利用するなどし、現場のニーズを共有できるような“声を聞く”仕組みを構築したいと考えます。 インターネットで様々な情報を入手できる時代となった今、配信される受け身の情報だけでなく、会員から情報が発信できるシステムは、特に若い世代にとって魅力的であると思われます。 引き続き業務を重ねていくことはもちろん、会員の皆様の役に立つ組織運営を行い、会員数を増やしたいという気持ちも強く持っております。私は昨年3月まで大学病院に勤務し、大規模病院における栄養管理体制を構築し、組織での他職種協働の場で栄養管理を実践してきました。この大きな組織の中で培った経験を日本栄養士会と会員のみなさまのために活用し、これからは管理栄養士・栄養士がその専門性を十分に活かしてそれぞれの分野で活躍できるよう、精一杯尽くしてまいります。							

◎ 一般 理事 選任 決議 分野 候補 者		届出番号	※ 13	ふりがな 氏 名	わたなべ じゅん 渡 邊 潤 (満57歳)	性別	男 ☒ 女 ☐	
		勤 務 先	名称 浜松医科大学医学部附属病院栄養部 〒 431-3192 静岡県浜松市東区有玉台1-20-1 TEL053-435-2612					
		所属都道府県 栄養士会	静岡県 栄養士会	会員 番号	0 2 2 0 1 7 0 9	所属職域	医療	
		職 歴	【職歴】 昭和60年6月～現在 浜松医科大学医学部附属病院 医事課給食係（現 栄養部） 【業績】 平成25年 静岡県栄養士会会長表彰 平成30年 日本栄養士会会長表彰 【会員・役員歴】 会員歴 平成4年～現在 役員歴 平成30年～現在 静岡県栄養士会理事 平成30年～現在 日本栄養士会理事					
立 候 補 の 抱 負	令和2年度の診療報酬改定では、栄養管理や栄養食事指導に関する診療報酬の新設や要件の緩和など、数多くのプラス改定が実現しました。これは栄養士・管理栄養士業務の重要性について、社会における認知度が年々高まっていることを反映した結果であると思われます。中でも画期的なものは、今まで保健医療機関に在籍する管理栄養士が実施した時のみに認められていた栄養食事指導料の算定が、栄養ケア・ステーション在籍の管理栄養士が実施した場合にも認められたことです。栄養士会が立ち上げた事業が実を結び、多くの管理栄養士が医療の分野で活躍の場を得られたこととなります。この様な事例にならって、栄養士・管理栄養士の活躍の場をさらに広げて、国民の健康に益々寄与できるような事業の推進に尽力していきます。							

◎ 一般 理事 選任 決議 分野 候補者		届出番号	※ 14	ふりがな	あべ きぬこ	性別	男・女	
		氏名	阿部 絹子 (満60歳)					
		勤務先	名称 群馬県利根沼田振興局 利根沼田保健福祉事務所 〒 378-0031 群馬県沼田市薄根町4412 TEL 0278-23-2185					
		所属都道府県 栄養士会	群馬県 栄養士会	会員 番号	01000745	所属職域	公衆衛生	
職歴・業績・会員・役員歴	【職歴】 昭和58年4月 群馬県職員 (入庁) ～60年3月 沼田保健所 昭和60年4月～平成3年3月 中之条保健所 平成3年4月～9年3月 衛生環境部保健予防課 平成9年4月～14年3月 利根保健所・渋川保健所 平成14年4月～18年3月 教育委員会保健体育課 平成18年4月～21年3月 渋川保健福祉事務所 平成21年4月～22年3月 食品安全局衛生食品課 平成22年4月～26年3月 食品安全局食品課 平成26年4月～令和2年3月 健康福祉部保健予防課 令和2年4月～現在 利根沼田保健福祉事務所 【業績】 令和元年9月 厚生労働大臣表彰栄養改善事業功労者 【会員・役員歴】 昭和58年4月～現在 日本栄養士会会員 平成10年4月～12年3月 群馬県行政栄養士協議会幹事 平成20年4月～22年3月 同 副会長 群馬県栄養士会渋川支部 支部長 平成20年4月～現在 群馬県栄養士会理事 (学術部長) 平成28年4月～30年3月 群馬県栄養士会 公衆衛生事業部長 平成22年6月～24年8月 日本栄養士会行政協議会幹事 平成24年8月～26年6月 日本栄養士会公衆衛生事業部 企画運営委員 平成26年6月～現在 日本栄養士会 公衆衛生事業推進委員会 委員長 日本栄養士会職域理事 (公衆衛生担当理事)							
	公衆衛生の職域担当理事及び公衆衛生事業推進委員会の委員長として3期6年間にわたり(公社)日本栄養士会が目指す、管理栄養士・栄養士の将来構想の実現に向け、公衆衛生分野に所属する行政栄養士が専門職として、その能力を発揮できるよう、各種事業の企画・運営。実施に尽力してきました。 群馬県栄養士会においては、理事・学術部長として組織運営に従事し、主に生涯教育制度の推進に力を注ぎ、会員からも評価の高い研修体制を構築してきました。 また、認定栄養ケアステーションの発展に向け、推進委員として制度設計から人材育成、モデル事業の実施などに尽力してきました。 本年3月で37年間勤務した群馬県職員を退職したことから職域理事を退任し、新たに一般理事としての立候補を決意しました。 一般理事として、これまで職域理事での経験を生かし、超高齢社会となる2040年に向け、国民に寄り添える管理栄養士・栄養士の活躍を支えるために、日本栄養士会の活動に貢献していく所存です。 また、現在、これまで人類が経験したことのない新型コロナウイルス感染症拡大の緊急事態の中で、群馬県職員に再任用され、地域の保健所で第一線の対策に従事しています。このような中で、住民の健康を守り、安全と安心を提供する公衆衛生がいかに重要であるかを痛感しており、公衆衛生の担い手として管理栄養士が活躍するためには、職能団体の役割が重要であり、その一役を担えるよう尽力いたします。							

◎ 一般 理事 選任 決議 分野 候補者		届出番号	※ 15	ふりがな	たなか やよい	性別	男・女	
		氏名	田中 弥生 (満59歳)					
		勤務先	名称 関東学院大学 栄養学部管理栄養学科 〒 236-8503 神奈川県横浜市金沢区六浦東1-50-1 TEL045-786-7058					
		所属都道府県 栄養士会	神奈川県 栄養士会	会員 番号	01401326	所属職域	研究教育	
職歴・業績・会員・役員歴	【職歴】 昭和56年～平成20年 南大和病院 栄養科 平成3年～平成20年 同上 栄養科長 平成3年～平成5年 関東学院女子短期大学非常勤講師 平成16年～平成29年 関東学院大学 非常勤講師 平成20年～平成22年 駒沢女子短期大学 准教授 平成20年～現在 南大和病院栄養科 顧問 平成22年～平成26年 駒沢女子大学 准教授 平成26年～平成30年 駒沢女子大学 教授 平成30年～現在 関東学院大学 教授 【業績】 平成8年～平成20年まで全国在宅訪問栄養食事指導研究会(現：日本在宅栄養管理学会)の会長として、管理栄養士の在宅医療・介護を推進し、会を円滑に運営した。 【会員・役員歴】 昭和56年～現在 日本栄養士会 会員 昭和61年～昭和63年 神奈川県栄養士会 幹事 病院栄養士協議会 幹事 平成16年～平成20年 日本栄養士会 幹事 全国病院栄養士協議会 幹事 平成24年～平成26年 日本栄養士会 理事 平成26年～現在 日本栄養士会 常任理事							
	地域において、プライマリー・ヘルス・ケアの理念のもと、一人ひとりの健康・栄養状態に対応した治療から介護・自立支援までの栄養ケアが求められています。そのためには、一人ひとりが一丸となってプロ意識が高い力のある栄養士・管理栄養士としての資質の向上が必要です。その成果が我々の社会的地位や身分の確立に繋がると考えます。日本栄養士会のビジョンを全うするために「社会貢献」「益増大」「会の成長」を目的として引き続き積極的に努めてまいります。 1. 栄養ケア・リサーチセンター機能、栄養ケア・センター機能の充実を図り、栄養ケア・ステーション、認定栄養ケア・ステーションの拡大・推進・有用性の検証を行います。 2. 栄養ケア・ステーションを通じて、地域の職域や多職種、配食サービス事業者などとの連携を図り、地域ケア会議の参画など地域連携の整備に取り組みます。 3. 在宅栄養専門管理栄養士、特定認定制度・在宅訪問専門管理栄養士を育成し、地域栄養ケアの体制整備と有用性の検証を行います。							

告示第3号

◎ 一般 理事 選任 決議 分野 候補者		届出番号	※ 16	ふりがな	きど やすひろ	性別	男・女	
		氏名	木戸 康博 (満65歳)					
		勤務先	名称 甲南女子大学医療栄養学部医療栄養学科 〒658-0001 兵庫県神戸市東灘区森北町6丁目2番23号 TEL 078-414-7134					
		所属都道府県 栄養士会	兵庫県 栄養士会	会員 番号	02601271	所属職域	研究教育	
職 業 績 ・ 会 員 ・ 役 員 歴		【職歴】		すべての栄養士会会員が将来の夢や思いを熱く議論できる日本栄養士会でありつづけるために、				
		昭和56年3月～昭和62年3月 大塚製薬㈱ 徳島研究所 研究員		(1) 管理栄養士・栄養士の制度 栄養士と管理栄養士の業務区分を明確にした栄養士制度の確立に努めたい。				
		昭和56年4月～平成9年3月 徳島大学 医学部 助手		(2) 管理栄養士・栄養士の養成 栄養士と管理栄養士養成におけるコアカリキュラムを整備して、栄養士と管理栄養士の修業年限、資格試験制度の整備に努めたい。				
		平成9年4月～平成19年3月 京都府立大学 人間環境学部 助教授		(3) 管理栄養士・栄養士の資質向上 文献検索システムや論文指導システムなどを整備して管理栄養士・栄養士の資質向上に努めたい。				
立 候 補 の 抱 負	平成19年4月～平成20年3月 京都府立大学 人間環境学部 教授	平成20年4月～平成30年3月 京都府立大学大学院 生命環境科学研究科 教授		(4) 栄養管理プロセス（栄養ケア・マネジメント） 全ての職域で、栄養管理プロセスが実践できる体制の整備に努めたい。				
		平成30年4月～令和2年3月 金沢学院大学 人間健康学部 教授		(5) 国際栄養 国際栄養士連盟（ICDA）やアジア栄養士連盟（AFDA）と連携して、国際公衆栄養向上に努めたい。また、2022年に日本で開催するアジア栄養士会議（ACD2022）で日本の栄養士・管理栄養士の功績を発信したい。				
		令和2年4月～現在 甲南女子大学 医療栄養学部 教授						
		【業績】						
会 員 ・ 役 員 歴		講談社栄養科学シリーズNEXT（シリーズ総編集）；「基礎栄養学」、「応用栄養学」、「タンパク質・アミノ酸の新栄養学」など、						
		金原出版「栄養学英和辞典」（編集）						
		医歯薬出版管理栄養士コアカリキュラム準拠教科書シリーズ（編集）；「導入教育」、「栄養管理プロセス」、など						
		【会員・役員歴】						
職 業 績 ・ 会 員 ・ 役 員 歴		平成元年～現在 (社)日本栄養士会 会員						
		平成5年3月～平成9年3月 (社)徳島県栄養士会 理事						
		平成7年4月～平成9年3月 (社)徳島県栄養士会 副会長						
		平成18年5月～平成20年5月 (社)京都府栄養士会 監事						
立 候 補 の 抱 負	平成20年5月～平成22年5月 (社)京都府栄養士会 理事	平成20年6月～現在 (公社)日本栄養士会 理事						
		平成30年5月～令和2年3月 (公社)石川県栄養士会 参						
		【業績】						
		【会員・役員歴】						
会 員 ・ 役 員 歴		平成5年4月～平成16年7月 杏雲堂病院		高齢者の増加により疾病を抱える人や認知症、要介護度の高い人が今まで以上に増加することが考えられます。2018年度の医療・介護報酬の同時改定では、「医療」と「介護」との連携の必要性はこれまで以上に高まり、高齢者施設の管理栄養士もその一員としての役割が期待されています。2025年の国の政策である地域包括システムの構築に向けて、医療・介護・行政等との連携強化でシームレスな栄養ケアを実施していかなくてはなりません。そのためにも、地域（各市町村単位）での管理栄養士同士の顔の見える関係を築き上げ、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるようなシステム作りに貢献したいと思っています。				
		平成16年8月～ 社会福祉法人日本心身障害児協会 島田療育センター入職		障がい児・者においては、栄養管理に影響を及ぼす要因として、精神疾患、神経疾患、消化器疾患、摂食・嚥下障害、低栄養、睡眠障害等、幾つもの身体的問題を抱えながら生活をしており、また個性も高いことから栄養ケアに難渋していることも少なくありませんが、当センターでの経験を活かし、少しでも障がい分野の栄養ケア・マネジメントの推進に寄与できるように努めたいと思います。				
		平成20年4月～ 同 栄養管理部 主任		27年間の医療・障がい福祉分野での栄養士業務と東京都栄養士会理事としての経験を微力ながら日本栄養士会の発展のために精一杯努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。				
		平成26年4月～ 同 栄養管理部 NST室室長						
立 候 補 の 抱 負	平成27年4月～ 同 経営企画室兼任	平成23年4月～ 支援が必要なこどもの栄養を考える会						
		平成30年4月～ 東京都アレルギー疾患対策検討委員会 委員						
		令和元年8月～ 南多摩地域栄養士協議会 副会長						
		【会員・役員歴】						
会 員 ・ 役 員 歴		平成6年～ 日本栄養士会会員						
		平成6～平成8年 神奈川県栄養士会						
		平成13～平成19年、平成22～平成23年、平成25年～東京都栄養士会						
		(東京都栄養士会役員歴)						
職 業 績 ・ 会 員 ・ 役 員 歴		平成26年～ 福祉事業部 企画運営委員						
		平成30年～ 福祉事業部 委員長						
		平成28年～ 理事						
		平成30年～ 副会長						

2. 職域理事選任決議分野候補者

◎ 職域 理事選任決議分野候補者		届出番号	※ 1	ふりがな	あらい ひでかず	性別	男・女
		氏名	新井 英一 (満48歳)				
		勤務先	名称 静岡県立大学 食品栄養科学部 〒 422-8526 静岡県静岡市駿河区谷田52-1 TEL 054-264-5511				
		所属都道府県 栄養士会	静岡県 栄養士会	会員 番号	0 2 2 0 4 4 6 6	所属職域	研究教育
職歴・業績・会員・役員歴	【職歴】 平成12～16年 徳島大学医学部栄養学科 助手 平成16～19年 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部 助教(名称変更) 平成19～30年 静岡県立大学食品栄養科学部 准教授 平成30年4月～ 静岡県立大学食品栄養科学部 教授	平成26年度より研究教育事業部企画運営委員(現:研究教育事業推進委員会委員)として、3期務めさせていただきました。令和2年度より事業部委員長として、斎藤前委員長の意思を引き継ぎ、研究教育事業部の活性化のみならず、他事業部との連携を図りながら、日本栄養士会の発展に貢献して参りたいと思います。 Society5.0といった、社会が大きく変化していく中で、管理栄養士・栄養士だけでなく養成校や研究機関の取り巻く環境にも大きな影響を及ぼしてきています。世界が掲げるSDGs(持続可能な開発目標)をしっかりと見据え、多様化に適応する専門職ならびに組織(人材育成)が、これからの社会に求められていると感じています。そのために、社会・会員のニーズに応え、変革しながら、全身全霊をかけて任務遂行に努めていきたいと思っています。					
	【業績】 平成30年 日本栄養士会会長表彰 【会員・役員歴】 平成16年入会 平成24年6月 静岡県栄養士会 研究教育事業部理事(～平成28年6月) 平成28年6月 静岡県栄養士会 副会長(～現在) 平成26年6月 日本栄養士会 研究教育事業部企画運営委員(～現在) 平成28年6月 日本栄養士会 生涯教育委員会委員(研究教育事業部委員)(～現在)	立候補の抱負					

◎ 職域 理事選任決議分野候補者		届出番号	※ 2	ふりがな	えびはらまさこ	性別	男・女
		氏名	海老原 昌子 (満64歳)				
		勤務先	名称 千葉県厚生農業協同組合連合会 〒 260-0031 千葉県千葉市中央区新千葉3丁目2番6号 TEL 043-245-7443				
		所属都道府県 栄養士会	千葉県 栄養士会	会員 番号	0 1 2 5 0 2 3 5	所属職域	地域活動
職歴・業績・会員・役員歴	【職歴】 昭和51年～昭和57年 千葉県船橋市学校栄養職員 平成 4年～平成15年 丸善海苔加工販売株式会社 平成15年4月～現在 千葉県厚生農業協同組合連合会	地域活動は多くのフリーランスの管理栄養士・栄養士が所属し、一人ひとりがそれぞれの得意分野で活動しています。これからの2年間で次のことを進めていきたいと思っています。 ・職域事業推進委員会を通じて各ブロック間の繋がりを強めていく。 ・会員が分野で業務をしていくことが基本の職域であり、一時休業中・リタイアされた会員も多く所属しているため、常に門戸を広く、会員が所属を迷った時の受け皿になる。 ・理事として日本栄養士会の運営に寄与するとともに本職域と日本栄養士会との調整を行う。 これまで2期で経験したことを基に、努力して参りたいと思っています。					
	【業績】 平成6年 千葉県栄養士会会長表彰 平成28年 日本栄養士会会長表彰 【会員・役員歴】 会員歴 平成3年～ 役員歴 千葉県栄養士会 平成24～31年度(令和元年) 理事 日本栄養士会 平成26, 27年度 地域活動事業部 企画運営委員副委員長 平成28年～31年度(令和元年) 地域活動職域理事	立候補の抱負					

告示第3号

◎ 職域 理事選任決議分野候補者		届出番号	※ 3	ふりがな はら じゅんや	性 別	男・女	
		氏名	原 純也 (満48歳)				
		勤務先	名称 日本赤十字社 武蔵野赤十字病院 〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 TEL 0422-32-3111				
		所属都道府県 栄養士会	東京都 栄養士会	会員 番号	0 1 3 0 2 8 3 3	所属職域	医療
職歴・業績・会員・役員歴	【職歴】平成4年～平成9年国内フードサービス(株) 平成9年～平成11年多摩丘陵病院 平成11年～平成13年国内フードサービス 平成13年～平成24年多摩丘陵病院 平成24年～武蔵野赤十字病院 【業績】10年永年表彰 【会員・役員歴】 平成19年入会 平成20年～東京都栄養士会医療部会 役員 平成22年～24年 東京都栄養士会 幹事 医療部会事業部長 平成24年～ 日本栄養士会医療事業部企画運営委員 平成26年～東京都栄養士会 理事(～28年事業部長) 平成28年～30年 日本栄養士会医療事業部企画運営副委員長 平成30年～ 日本栄養士会医療事業部企画運営委員長(現事業推進委員長) 日本栄養士会 医療職域担当理事		平成30年度より、医療担当理事を拝命いたしました。この時期での大きな成果として、先ずは令和2年度の診療報酬改定におきまして、会員の皆さんの多大なるご協力もあり、管理栄養士の業務やスキルに関して、評価に繋げることができました。この流れを2022年また2024年のいわゆる同時改定へしっかりと繋げていきたいと思ひます。また、理事業務としては研究教育センターにおいて、今後の栄養士・管理栄養士の政策に関する研究のデータベース化に関わりました。まだまだ、課題も多く引き続きこの仕事にも関わり、診療報酬改定に役立つデータベースの構築に努めていきたいと思ひます。更に診療報酬改定においては介護分野や栄養ケアステーションとの連携も不可欠になってきておりますので、職域を超えて連携強化を図り、進めて行きたいと思ひております。				
	立候補の抱負						

◎ 職域 理事選任決議分野候補者		届出番号	※ 4	ふりがな なかだ ともこ	性 別	男・女	
		氏名	中田 智子 (満53歳)				
		勤務先	名称 栃木市大平学校給食センター 〒329-4403 栃木県栃木市大平町蔵井2026-13 TEL 0282-43-2212				
		所属都道府県 栄養士会	栃木県 栄養士会	会員 番号	0 0 9 0 0 4 6 9	所属職域	学校健康教育
職歴・業績・会員・役員歴	【職歴】昭和62年4月 栃木市立栃木東中学校 学校栄養士 平成7年4月 栃木市立大宮北小学校 学校栄養士(平成11年4月から主任) 平成15年4月 都賀町立都賀中学校 主任(平成21年4月から栄養教諭) 平成25年4月 栃木市教育委員会副主幹兼指導主事(平成30年4月から課長補佐兼指導主事) 2020年4月 栃木市立大平中学校 栄養教諭 【業績】 ・文部科学省委託事業を都賀町で3年間受託 ・「地産地消の仕事人」に選定(農林水産大臣) ・学校給食における食物アレルギー対応指針作成委員(文部科学省) ・第57回 全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会第4分科会 指導助言者(主催 文部科学省等) ・第58回 全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会第8分科会 指導助言者(主催 文部科学省等) ・第60回 全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会第8分科会 指導助言者(主催 文部科学省等) ・平成21年 とちぎ教育賞(栃木県教育委員会) ・平成23年 優秀教員表彰(文部科学大臣) 【会員・役員歴】 ・栃木県栄養士会学校健康教育協議会会長(平成20年4月～平成22年3月) ・日本栄養士会学校健康教育事業部企画運営委員(平成26年4月～現在) ・推進委員長(平成30年総会～現在) ・日本栄養士会特定分野食物アレルギー管理栄養士・栄養士 認定制度副委員長(平成30年4月～現在) ・日本栄養士会理事(平成30年総会～現在)		児童生徒の生涯にわたる健康づくりの実現のため、学校健康教育の職域の会員等が食に関する指導と学校給食管理をより良くスキルアップできるような事業で学校における食育の推進に寄与できるように努めていきます。 また、特定分野食物アレルギー管理栄養士及び栄養士の認定制度を、食物アレルギーの基本的知識と安全で適切な食事・給食提供、地域連携の技能が修得でき、食物アレルギーを持つ患者や家族に対し栄養管理と専門的な食・栄養支援を行うことでQOL向上に貢献できる会員を認定する本制度をより充実させ、認定者のフォローアップ体制も確立できるように努めていきます。 そして、日本栄養士会や各都道府県栄養士会と会員の取り組みや、新情報などを栄養士会雑誌やHPなどで発信共有、会員や管理栄養士及び栄養士以外の方にも情報を発信できるような企画に努めていきます。				
	立候補の抱負						

告示第3号

◎ 職域 理事連任決議分野候補者		届出番号	※ 7	ふりがな かとう すみこ	氏名 加藤 すみ子 (満56歳)	性別 男・女	女	
		勤務先	名称 社会福祉法人いわき福音協会 つばさA型 〒 970-8026 福島県いわき市平字新川町36-1 TEL 0246-38-3312					
		所属都道府県 栄養士会	福島県 栄養士会	会員番号	0 0 7 0 1 5 2 6	所属職域	福祉	
職歴・業績・役員歴	【職歴】		昭和63年～平成5年 (医) 石井脳神経外科・眼科病院 平成13年～20年 (医) 介護老人保健施設 サンライフゆもと 平成20年～27年 (社福) いわき福音協会 福島整肢療護園 平成27年～28年 (社福) いわき福音協会 障害者支援施設はまなす荘 平成28年～ (社福) いわき福音協会 つばさA型					
	【業績】 特になし		超高齢少子社会の到来により、高齢や児童分野では、複雑化する栄養課題が山積みとなっています。また、地域共生社会の構築に至っては、障害分野においても栄養・ケアマネジメントの更なる普及が求められているところです。 今後、益々活躍を期待される福祉職域ですが、施設内は基より在宅における食事指導や栄養ケア・マネジメントまで仕事は多岐にわたっており、一人職場であることの多い福祉職域では一人でまかないきれない実態があります。 平成30年度に企画運営委員長代理の任をいただいたから、今回は2度目の立候補になります。今期から取り組んでいる高齢・障がい・児童のスキルアップ（初任者）研修や、ほっこり食事講座は、内容の充実を図りながら今後も継続して展開していきたいところです。 また、今期は介護報酬改定や障害福祉サービス等報酬改定が行われる任期となりますので、それぞれに関係する各種団体との連携を密にしながら、日本栄養士会として国への要望活動をしていきたいと考えています。 近年、頻発する災害に対しても、JDA-DATに順じ福祉ネットワークの構築を行っていききたいと考えています。					
役員歴	【会員・役員歴】		昭和63年～平成5年 入会 平成13年～ 再入会 平成24年～26年 (公社) 福島県栄養士会 福祉協議会会長 平成26年～28年 (公社) 福島県栄養士会常務理事 (公社) 日本栄養士会福祉事業部 企画運営委員 平成28年～30年 (公社) 福島県栄養士会副会長 平成28年～29年 (公社) 日本栄養士会福祉事業部 企画運営委員 平成29年～30年 (公社) 日本栄養士会福祉事業部 企画運営委員長代理 平成30年～ (公社) 日本栄養士会福祉職域理事					